第３学年（B22）　（B組）
年間学習指導計画作成事例（令和３年度）

※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてA案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	三つの資質・能力別に示した学習の目標			指導事項	教材名	学習目標（教科書掲載 他）	主な学習の窓口（共通事項）	歌唱					器楽					創作					鑑賞						扱い時数の目安（計35）
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等					ア	イ		ウ		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ		ア		イ		ウ	
											(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	
前期	詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、詩に込められた思いと旋律や強弱とのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●音楽の授業や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能）	音階の特徴及び音がつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。（技能）	音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等） リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (1)歌唱 ア イ（ア） ウ（ア）	の雨　花の歌（共通教材） My Voice! BINGO GAME RHYTHM GAME	詩や曲の背景を理解し、そこに込められた思いを生かして歌おう。 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう！ 音符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	旋律、強弱 音色 リズム	○	○		○																	4
						A表現 (3)創作 ア イ（ア） ウ	My Melody	歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	リズム、旋律											○	○		○									
	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能） ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。（技能）	音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (1)歌唱 ア イ（ア） ウ（ア）（イ）	鳥の中の青春 フィランディア	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。 ア カペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。	旋律、テクスチュア、強弱 音色、テクスチュア	○	○		○	○																		3
	曲想に応じた発声や言葉の特性を理解して、表現を工夫しよう	●曲想を味わい、その音楽にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して歌う。	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能） ②声の音色や響き及び言葉の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能）	音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ②声の音色や響き及び言葉の特性と曲想に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (1)歌唱 ア イ（ア）（イ） ウ（ア）	Yesterday 船「羽衣」から	英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。 声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。	音色、リズム、旋律 音色、リズム、旋律	○	○	○	○																			3
	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●曲想の変化を味わい、音楽材の特徴や構成を生かしてリズム伴奏を考えたり、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。（知識） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。（知識）	音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）	①曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	B鑑賞 (1)鑑賞 ア（ウ） イ（ア）（イ）	☆ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	音色、リズム、旋律、テクスチュア																		○	○	○				4
			①曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な楽法、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能） ②曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。（技能）	音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (2)器楽 ア イ（ア） ウ（ア）（イ）	☆テキーラ（p.54） ☆エデンの実（p.58）／ 美女と野獣（p.54）他	曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。 パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。	音色、リズム、テクスチュア、形式・構成 旋律、テクスチュア、強弱、形式・構成						○	○		○	○															
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	●音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。（知識） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。（知識）	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等） ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）	①曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	B鑑賞 (1)鑑賞 ア（ア）（イ） イ（ア）（イ）	☆ブルタバ（モルダウ） ☆「レクイエム」から“ラクリモサ（涙の ☆エチュード ハ短調（「革命」） ☆「アランフェス協奏曲」から第２楽章 ☆ノヴェンバー ステップス	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。 曲の背景を知って、名曲を味わおう。	音色、速度、旋律、強弱 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱												○	○		○	○								4

第３学年（B28）　（3組）
年間学習指導計画作成事例（令和３年度）

※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じて入替の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	三つの資質・能力別に示した学習の目標			指導事項	教材名	学習目標（教科書掲載 他）	主な学習の窓口（共通事項）	歌唱					器楽					創作				鑑賞						扱い時数の総数（計35）
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等					ア	イ		ウ		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ	ア		イ				
											[ア]	[イ]	[ア]	[イ]		[ア]	[イ]	[ア]	[イ]		[ア]	[イ]		[ア]	[イ]	[ウ]	[ア]	[イ]	[ウ]	
後期	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	●全体のまとまりを考えて表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を生かしながら、それらの組み合わせ方や反復、変化、対照などの構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくる。 ●パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して、リズムの変化や重なり方に着目しながら、表現を工夫してリズムアンサンブルをする。	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌詞や言葉をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。（技能）	音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (3)創作 ア イ（イ） ウ	Let's Create!	構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式・構成							○		○	○											4
			楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。（技能）	リズム、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	楽器の音色や響きと奏法の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (2)器楽 ア イ（イ） ウ（イ）	◇打楽器のための小品（p.78）	リズムの変化や重なり方に注目しながら、リズムアンサンブルを楽しもう。	リズム、テクスチュア、形式・構成							○		○	○											
	日本の伝統芸能の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、その よさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。（知識） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。（知識）	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、　曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）	①曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	B鑑賞 (1)鑑賞 ア（ア） イ（ア）（イ）	○平調「越天楽」―管絃― ○「羽衣」から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。―雅楽― 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。―能―	音色、旋律、テクスチュア 音色、リズム、速度、旋律													○			○	○				3
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。（知識） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。（知識） ③我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。（知識）	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）	①曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ②音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等） ③我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	B鑑賞 (1)鑑賞 ア（ウ） イ（ア）（イ） （ウ）	○世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。	音色、リズム、速度、旋律															○		○	○	○		2
	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。 ●明治から現代に至るまでの日本の音楽の変遷と、西洋音楽からの影響、日本から世界への音楽の発信について知る。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能）	旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (1)歌唱 ア イ（ア） ウ（ア）	心の歌　花（共通教材） 特集　国境を超えて影響し合う音楽	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌おう。	旋律、強弱	○	○		○																	2
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。（技能） ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。（知識） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。（技能）	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）	A表現 (1)歌唱 ア イ（ア） ウ（ア）（イ）	きみとともに 響い響こう 日本の歌 心通う合唱 指揮をしてみよう！	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。 地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。 仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	旋律、強弱 旋律、テクスチュア、強弱 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式・構成 リズム、速度、強弱	○	○		○	○																	6
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。																															

○―鑑賞教材　◇―器楽教材（中学生の器楽）

※特集「ルールを守って音楽を楽しもう！」については、道徳指導計画に含める。